

東京オリンピックに向けた ホストタウンとしての取り組み

南会津町 ∞ アルメニア共和国

大会ホストタウン
シリーズ9

アルメニア共和国の
音楽に触れてみよう!

■ アルメニア共和国の民族楽器をご紹介します

アルメニア共和国の民族楽器に「ドウドック」という楽器があります。この楽器は、アルメニア共和国の名産品であるアプリコット（杏子）の木から作られた木管楽器で、起源はとても古く、世界最古のリード管楽器とされます。

「ドウドック」は、大きなダブルリードを有した縦笛で、管状の本体に指穴が10個（表8個、裏2個）あります。

柔らかく滑らかな音色が特徴で、必聴の美しさとされ、アルメニア共和国では聖歌の演奏時などに使用されています。



民族楽器「ドウドック」

■ 吹奏楽曲の定番といえば？

吹奏楽の世界では誰もが知る「アルメニアン・ダンス」。アルメニア共和国でクラシック音楽の父と称されるコミタス・ヴァルダベット（1869～1935）が収集した民謡を素材として、アメリカ合衆国の作曲家アルフレッド・リード（1921～2005）が作曲した吹奏楽曲です。

御蔵入交流館落成15周年記念事業として開催した「陸上自衛隊第6音楽隊演奏会」でも、田島高等学校吹奏楽部との共演により、「アルメニアン・ダンス」が演奏されました。



陸上自衛隊第6音楽隊と田島高等学校吹奏楽部
「アルメニアン・ダンス」の合同演奏

■ 運動会での定番曲にも深い関係が

運動会などでよく使われ、誰もが聞いたことのある「剣の舞」。この曲を作曲したのは、作曲家アラム・ハチャトゥリアン（1903～1978）です。現在のジョージア（旧グルジア）生まれですが、アルメニア人を両親に持ち、自分自身がアルメニア人であることを誇りとしていました。

この楽曲も、アルメニア共和国の民謡などを参考として作曲されたと伝えられています。